チベット文学と映画制作の現在

ペマ・ツェテン映画祭

チベットでは今、若い世代の作家や映画監督たちによる文学活動や映画制作が活発に行われています。本企画ではチベット映画界を牽引する映画監督であり、また小説家としても活躍するペマ・ツェテンに注目し、同氏の短編小説集『チベット文学の現在 ティメー・クンデンを探して』を本邦初訳で刊行するのと時期をあわせて、映画作品を一挙上映いたします。チベット人の目を通してチベットの「今」を知ることのできる貴重な機会です。ぜひご来場ください。

「静かなるマニ石」 *The Silent Holy Stones* 2005年 / 102分 / 言語：チベット語 / 字幕：日本語・英語

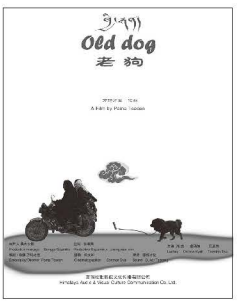
出演：ロブザン・テンペル、トゥルク・ジャホンツァン

電気がようやく通ったばかりのチベット・アムド地方の山村の冬。寺でも村でも正月を迎える準備で忙しい。親元を離れて寺で修行している10歳の少年僧は先生のもとで勉強に励むいっぽうで、寺では年下の化身ラマの居室にしかないテレビに興味津々。大晦日、迎えに来た父に連れられて3日間の正月休みに実家に帰ると、家に届いて間もないテレビとビデオに大喜び。正月の伝統行事である村芝居の歌舞劇「ティメー・クンデン」もそっちのけで西遊記のビデオに夢中になる。少年僧は西遊記を先生たちに見せたいと思って家族に頼み込み、テレビとビデオデッキを父の引く馬に載せて寺に戻る… ペマ・ツェテン監督の初の長編劇映画。チベットの山村や僧院の素朴な暮らしの中に忍び寄る変化をありのままに映し出す。主役の少年僧の生き生きとした演技が印象的な作品。第10回釜山国際映画祭でニューカレント賞、第24回バンクーバー国際映画祭でドラゴン&タイガー賞審査員特別賞を受賞、第9回上海国際映画祭でアジア・ニューユニット賞、最優秀監督賞を受賞。2006年の日中映画祭で初上映された。

「ティメー・クンデンを探して」 *The Search* 2008年 / 112分 / 言語：チベット語 / 字幕：日本語・英語

出演：マンラキャプ、ツォンディ、ルモツォ

歌舞劇「ティメー・クンデン」の映画化を企画する映画監督が、ガイド役の実業家を連れて役者探しの旅に出る。チベットの歌舞劇で有名なとある村で、一行はティメー・クンデン王子の妻役にぴったりの理想的な娘を見つける。彼女の伸びやかな歌声は一行を感動させるが、彼女は役を引き受けるにあたって、彼女の別れた恋人を探し出してくれれば、という条件を出す。元恋人は彼女とともにかつて王子の役を演じた男だったのだ。監督はその願いを叶えることを約束し、彼女を車に乗せてさらなる役者探しの旅に出る。車の中では実業家が若い頃の恋物語を語り出し、それが次第に皆の心模様を変化させていく。前作「静かなるマニ石」のロケ地の選定に同行した実業家のツォンディが旅の車中で語った実話をもとにして作られた作品。本作の小説版はペマ・ツェテン短編集『ティメー・クンデンを探して』に収録されている。第12回上海国際映画祭で審査員特別賞を受賞。第62回ロカルノ国際映画祭公式招待作品。第34回トロント国際映画祭でコンテンポラリー・ワールド・シネマ賞を受賞。日本初上映。



「オールド・ドッグ」 *Old Dog* 2010年 / 81分 / 言語：チベット語 / 字幕：日本語・英語

出演：ロチ、ドルマキャプ、タムディンツォ

1990年代のチベット・アムド地方の遊牧地区。チベットの人々の暮らしと切っても切れない関係にあったマスチフ犬が漢族の間で投機対象となり、高値で売買されるようになっていた。舞台となった村の犬も大半が都会に売られて行き、犬泥棒も横行している。そんなある日、老父の大切にしているマスチフ犬を息子が勝手に町の業者に売ってしまう。老父は怒り、業者のもとへ取り戻しにいく。しかしその後、夜中の犬泥棒や執拗な犬売買のブローカーたちに悩まされることになる。そしてついに老父はある決意を胸に、犬を連れて草原へと向かう。本作品は前2作とは異なる憂鬱な空気に支配された映画。チベットの現実の暗い面を、思わず気がふさぐような映像と時にけたたましいまでの音声を使って克明に描き出している。2011年の東京フィルメックス国際映画祭で最優秀作品賞を受賞。第35回香港国際映画祭アジア・デジタル・コンペティション部門で金賞、2012年ブルックリン国際映画祭で最優秀物語賞を受賞。

「草原」 *The Grassland* 2004年 / 22分 / 言語：チベット語 / 字幕：中国語・英語

出演：アマ・ラド、アナム、ドルマキャプ

一人暮らしのツォモばあさんは、村長から生活保護のために借り受けたヤクを放生のため山に放してしまう。しかしそのヤクが盗まれ、問題となる。村長は昨年放生羊を盗んだ隣の草原の若者たちの犯行を疑い、おばあさんを連れて隣の草原の村長に訴えに行く。隣村の村長は若者たちを呼び出し、山神の前で誓いを立てさせるが、若者たちは無実、真犯人は村長の息子だった。村長は息子に謝罪させようとヤクを引いておばあさんのもとに連れて行く。 北京電影学院の卒業制作として制作されたペマ・ツェテン初監督作品。後の長編で繰り返し用いられるモチーフの原型が凝縮されている佳品。北京電影学院第3回学生映画祭にてショートフィルム最優秀作品賞、第34回ロッテルダム国際映画祭にてショートフィルム賞を受賞。日本初上映。

チベットの「今」を映し出す

■映画美学校 上映スケジュール

	10:30～	13:30～	16:30～	18:30～
7日[土]	静かなるマニ石	ティメー・クンデンを探して	オールド・ドッグ	
8日[日]	静かなるマニ石	ティメー・クンデンを探して	オールド・ドッグ	監督・プロデューサーを迎えて

【特別企画】監督・プロデューサーを迎えて
2013年12月8日[日] 18:30～(予定) 定員：70名
■各作品の開場は上映時間の15分前です。

■東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所上映スケジュール

12月 9日[月] 18:00～ 静かなるマニ石
12月10日[火] 18:00～ ティメー・クンデンを探して
12月11日[水] 18:00～ 草原／オールド・ドッグ
■上映後に監督を迎えてミニ・トークショーを行います。

★ご来場特典 小冊子《SERNYA チベット文学と映画制作の現在》を差し上げます。
[予約方法] 下記サイトよりお申し込みください。
http://kokucheese.com/event/index/115959/

■ペマ・ツェテン *Pema Tseden*

1969年、中国青海省生まれ。大学時代に小説家デビュー。チベット語、漢語の両方で執筆し、高い評価を得ている希有な作家である。十年ほど前から映画制作を始め、故郷の人々の生活に深く迫り、丁寧に描き出す作風で、チベットの「今」を浮き彫りにした。受賞歴多数。

「チベット文学と映画制作の現在」ブログ http://tibetanliterature.blogspot.jp/

■映画美学校
渋谷区円山町1-5 KINOHAUS地下1階
JR渋谷駅 ハチ公口より徒歩7分

■東京外国語大学府中キャンパス
・西武多摩川線多磨駅より徒歩約5分
・京王線飛田給駅より多磨駅行きバス
東京外国語大学前停留所下車徒歩1分